



Weekly Report Rotary



福島中央ロータリークラブ会報

事務局 〒960-8051 福島市首根田町4-22 TEL:024-526-7211 FAX:024-526-7212
E-mail:info@fukushimachuo-rc.com http:fukushimachuo-rc.com/

会長あいさつ

2024-25年度会長 佐藤 信雄



皆さんこんにちは。

私の年度も残すところあと1ヶ月となりました。今年度の一大イベントである、6月14日の創立35周年記念式典を控え気が抜けない毎日です。

さて、6月は「ロータリー親睦活動月間」です。年次計画書を見ると、親睦委員会は夜間例会の後の2次会や納涼例会・クリスマスの家族例会そしてゴルフクラブの活動などが記載してあります。例年通りのイベントで事足りると思っておりました。今般親睦月間リソースを見ると、また違った面があることに遅ればせながら気が付きました。リソースには

「同じ関心や趣味・職業を持つ世界中の仲間と楽しく交流できる」「世界中に会員がいるロータリーならではの国際交流のチャンス」と書かれていました。親睦の具体例として、アマチュア無線・風上げ・手品・マラソン・写真からヘビメタに至るまで数多くのグループが出ていました。

ここに載っているのは世界を股にかけたスケールの大きなもので、簡単には手が出ないことですが、県北第一分区や第二分区などに声掛けして、先週行われた、健康ウォークラリーをもっと発展させたり、福島市郊外にある銭湯巡りの温泉同好会、ペット交流会などにも挑戦してみてもいいかなど。

早川ガバナーが掲げる「ロータリーを楽しもう Enjoy Rotary Life」の motto に添った工夫があっても良かったのかな、と思いめぐらせております。

話は変わりますが、先日「規定審議会報告及び定款・細則研修セミナー」に参加して来ました。定款細則の変更は3年ごとに行われるものです。年次計画書を作る際に、定款はクラブ名以外はそのまま載せなければならないということで、一通りは目を通しましたが、詳しく読み込んではいませんでした。今回の研修に参加したことで、改めてじっくりと目を通しました。今回の規定審議会で5か所の定款の変更がございました。改訂定款は7月1日から実施しなければならないので直しました。詳しい報告は時間が必要ですので、7月以降の早い段階での例会で報告いたしたいと思っています。現行及び改訂の対比表と年次計画書に載せる定款は作成済みです。Teamsのどこに載せたらいいのか分らなかったのも事務局にメールしておきました。

本日この後、創立35周年記念式典について皆様へのお願いなど実行委員会から連絡があります。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



米山記念奨学金の進呈

ヴォ ロン クエンさん

2025年6月4日(水)

第37回(通算1624回)

エフズサンパレス

「地区研修・協議会報告②」

例会次第

- ◆開会点鐘 佐藤 信雄会長
- ◆国歌斉唱「君が代」
ロータリーソング「奉仕の理想」
ソングリーダー 齋藤 康隆会員
- ◆「四つのテスト」唱和
職業奉仕委員会 佐藤 龍史委員長
- ◆お客様・来訪ロータリアンの紹介
・米山記念奨学生 ヴォ ロン クエンさん
- ◆米山記念奨学金の進呈
・米山記念奨学生のあいさつ
ヴォ ロン クエンさん
- ◆6月会員及びパートナーの誕生祝
♪誕生日ソング
- ◆会長あいさつ 佐藤 信雄会長
- ◆お食事をどうぞ
- ◆幹事報告 多田 憲司幹事
- ◆各委員会報告
・7月のプログラム紹介
プログラム委員会 穴戸 宏行委員長
- ・ニコニコBOX委員会報告
植木 博隆委員
- ・創立35周年式典実行委員会より
佐藤 龍史実行委員
- ◆「地区研修・協議会報告①」
司会:次年度副幹事 菅野 幸一会員
・幹事部会/RLI委員会/地区ラーニング
委員会/規定委員会報告
菅野 幸一次年度幹事
- ・職業奉仕委員会報告
佐藤 元彦会員(代読 梅津 寿光会員)
- ・ロータリー財団委員会報告
穴戸 宏行会員
- ◆閉会点鐘 佐藤 信雄会長

本日の出席率

会員数	43名
出席者総数	25名
うち出席免除会員出席	3/5名
出席率	61.0%

「地区研修・協議会報告②」

2025-26年度「**UNITE FOR GOOD**」

司会 菅野 幸一次年度幹事



幹事部会/RLI委員会/地区ラーニング委員会/ 規定委員会報告

菅野 幸一次年度幹事



地区研修・協議会の報告をいたします。

セッションⅠでは、RLI委員会 町田晃委員長の司会で始まりました。

あいさつは右近八郎パストガバナー。芳賀 裕パストガバナーが地区規定委員会～RLI委員会の話がありました。町田さんからトレーニング～ラーニングの話を聞きました。内容は、

- 1) 年間プランニングと質の向上
- 2) ファシリテータの育成と強化
- 3) 参加者の拡大
- 4) デジタル化と効率的な運営
- 5) 長期ビジョンの設定
- 6) 広報活動の強化

運営は11名の委員によるRLI委員が担当します。

午後の部セッションⅡでは、佐藤正道パストガバナーよりラーニングの話を聞きました。事業計画の内容は、

- 1) RLIの組織規程や方針の情報提供
- 2) 会員のスキルアップのためのラーニング
- 3) クラブ委員会活動に有益なヒントを提供
- 4) 地区内外のロータリー活動情報を提供
- 5) ロータリー活動についての疑問や質問に対応
- 6) セミナーでのグループディスカッションを含むワークショップ

今後の戦略計画を策定し、地域に求められるロータリークラブとなれるようサポートして下さるということでした。

以上で報告を終わります。



職業奉仕委員会報告

佐藤 元彦会員

代読 梅津 寿光会員

去る5月17日(土)11:20からパルセ飯坂の2階ホワイエにおいて、職業奉仕委員会を「セッションⅠ」と「セッションⅡ」に分けセミナーに参加してきました。当クラブからは丹野良一、次期職業奉仕委員長が渡航中の為に代理で私が出席してきました。

セッションⅠでは、田代行孝(白河RC)次期職業奉仕委員長より、「職業奉仕委員会基本方針」について説明が有り次の3点について説明が有りました。

1. 当地区における職業奉仕委員会の活動について
2. ロータリーにおける職業奉仕の現状について
3. 2025-26年度の活動方針について

RIがイメージする職業奉仕の目的は

職業奉仕⇒公共イメージの向上⇒会員増強⇒ロータリー財団資金⇒世界平和

というスキルをイメージしているとの事でした。

絞めの総括として次の説明が、わかりやすい職業奉仕の概念に思いましたのでご紹介します。

・シェルドンの職業奉仕理念では、自らが儲けるために職業に就いているという考え方を捨てて、顧客の満足度を最優先しつつ、自らの職業を通じて他人に奉仕するという考えで事業を営めば、その事業所は継続的に発展する。

・そのような事業所は高い職業倫理を持っている。

・職業奉仕は、職業倫理を高揚することではなく、職業奉仕の実践が、結果として、職業倫理の高揚に繋がる。(「地区協議会基調講演 2007.5.12」田中毅第2680地区PDG)

セッションⅡでは、次期職業奉仕副委員長の内藤哲太郎(二本松RC)委員より「奉仕の理想(理念)」について説明が有り、佐藤悦夫(福島東RC)委員より「ロータリアンの行動規範・四つのテスト」について説明が有りました。

職業奉仕については、あまり難しくとらえず「四つのテスト」を規範に、自身が出来る事から実践していく事が良いと思います。





ロータリー財団委員会報告

穴戸 宏行会員

泉田ガバナーエレクト地区財団委員会方針

- 1、「より大きなインパクトをもたらす」事業の奨励
- 2、ポリオについての理解を深める
- 3、公共イメージ委員会との連携
- 4、ポールハリスソサエティ会員(PPH) 100名
- 5、ポリオプラスソサエティ会員(PPS) 100名
- 6、ベネファクター各クラブ1名
- 7、学友委員会と連携協力
- 8、ロータリーカード加入推進

9、ファンドレイジング
目標年次基 \$ 150
ポリオプラス \$ 30
年次基金寄付ゼロクラブゼロ

ロータリー財団補助金

○地区補助金

小規模、短期のプロジェクト
地元または、海外での活動
ロータリー財団の使命を支える活動
年に一度、地区に一括支給

○グローバル補助金

大規模、長期のプロジェクト
持続可能、測定可能な成果をもたす
7つの重点分野に該当する活動
海外のクラブや地区と協力
最低30,000ドル
国際財団活動資金(WF)からの上乗せ

○災害救援補助金

自然災害により被災した地域の救援及び復興活動支援
災害救援基金への寄付によって支えられる

○大規模プログラム補助金

大勢の人に恩恵をもたらす長期の活動
7つの重点分野に該当する活動
WFから200万ドル(ロータリアンからの追加資金は必要なし)
パートナーと協力して実施
競争制の2段階の申請プロセス



各クラブ担当者の方へお知らせ

- ・地区ロータリー財団セミナー・補助金管理セミナー
社会・国際奉仕委員会合同開催 **2025年9月13日(土)**
- ・グローバルゼミナール **2025年11月8日(土)**
- ・クラブ覚書(MOU)提出 締切 **2026年1月31日**
- ・補助金申請書の提出 締切 **2026年3月31日**
- ・報告書の提出 締切 **2026年5月15日**

ロータリー財団委員会地域目標



■年次基金	・1人当たり150ドル ・年次基金寄付ゼロクラブゼロ達成を継続する ・Every Rotarian Every Year(年次基金への寄付)の推進 ・ポールハリスソサエティの推進(各地区10名増やす) ・自動定期寄付を利用する会員を10%増やす
■ポリオプラス基金	・1人当たり30ドル(1,500ドル以上の寄付をしたクラブには、感謝状が贈られます。) ・ポリオプラスソサエティの推進(各地区50名目標)
■恒久基金	・冠名基金を各地区1件以上設立
■大口寄付	・寄付の種類にかかわらず、1万ドル以上のご寄付を日本で100件、 「大口寄付0地区」ゼロを目指す ・AKSを日本全体で10名増やす。中期目標として、2~3年で「AKS0地区」ゼロを目指す
■DDFの活用	各地区期末DDF残高ゼロを目指す ・DDFの20%をポリオプラスへ寄贈 ・ロータリー平和センター、7つの重点分野への寄贈
■奉仕活動の推進	・世界ポリオデーにイベント企画、実施 ・グローバル補助金・地区補助金の活用の促進 ・ロータリー平和フェロシップの推進

My ROTALY ラーニングセンターの活用



よいことの
ために
手を取りあおう



7月のプログラム紹介

穴戸 宏行プログラム委員長



日付	内容	時間	会場
7月2日(水)	会長・幹事・SAAスピーチ 鈴木年度の開始にあたって挨拶です。多くの会員の出席をお願いします。	12:30	エフズサンパレス
7月9日(水)	第1回クラブ協議会 新年度にあたって各委員会の方針の発表願います。	12:30	エフズサンパレス
7月16日(水)	新旧役員歓送迎家族例会・RAC合同例会 旧役員の皆様1年間お疲れさまでした。各種表彰をいたします。	18:30	エフズサンパレス
7月23日(水)	祝日(7/21海の日)休会		
7月30日(水)	福島民友新聞社 職場訪問例会 石橋会員の事業所訪問になります。	12:30	福島民友新聞社

【その他の行事】

7月23日(水)	7月度定例理事会	17:30	益蔵
----------	----------	-------	----



6月会員・パートナーの誕生祝

- 6月9日 菅谷 敏会員
- 6月14日 佐々木 臣樹会員
- 6月15日 菅野 幸一会員
- 6月17日 多田 憲司幹事
- 6月20日 亀岡 政雄会員
- 6月22日 梅津 寿光会員
- 6月24日 鍛冶 輝雄会員
- 6月25日 丹野 良一会員
- 6月29日 佐藤 信雄会長
- 6月7日 舟山 裕二会員のパートナー



幹事報告 多田 憲司幹事

- 1) 6月のロータリーレートは、1ドル144円です。
- 2) 6月1日より、高校生を対象にした「2026-27年度青少年交換学生」の募集が開始されています。6月15日(日)14:00～ガバナー事務所にて事前説明会が開催されます。詳しい資料については事務局にお問い合わせください。
- 3) 次週例会は6月14日(土)福島中央ロータリークラブ創立35周年/福島中央ロータリークラブ創立10周年記念式典となります。後ほど実行委員からご説明いただきます。
- 4) 次の通常例会は6月18日(水)12:30～エフズサンパレスにて開催いたします。各委員会より1年間の活動報告をいただきますので、ご準備をお願いいたします。



ニコニコBOX委員会報告 植木 博隆委員

■佐藤 信雄会長

本日は地区研修・協議会報告です。
報告担当者の方、よろしくお願いします。

■今野 朗会員

おかげさまで、発症から2時間で点滴開始したので後遺症なしです。皆さんも遠慮なく救急車呼びましょう！

植木 博隆	紺野 信	佐藤 龍史	箭内 一典
梅津 寿光	斎藤 高紀	穴戸 宏行	山田 稔
大出 隆秀	齋藤 康隆	菅谷 敏	渡部九二五郎
川瀬 哲雄	坂本 和司	鈴木 努	渡邊 英世
菅野 幸一	佐々木 臣樹	多田 憲司	
熊坂 友好	佐藤 和子	芳賀 裕	
今野 朗	佐藤 信雄	平井 義郎	



目標 200万円

本日の投入額 25件 39,000円
累計 1,248,770円

